

シリーズ ④

我が家の家庭教育

親と子のかけ橋

篠原 鵜 沢 洋 子

我が家での家庭教育の柱は、家族六人が足並みそろえて生活を…第一と考えております。祖父母、私達夫婦、中二の男子、小四の女子と六人家族。愛情、しつけの両面から、祖父母にも全面的に協力してもらっております。

近年、少年非行が増えて、経済的にも問題のない普通の家庭からも、非行が多く生まれていると言われ、年頃の子供をもつ私達には子育てのむずかしさは、文字や言葉に言い表わせない程の難問題です。

子供を愛するあまりに、ちやほやしすぎてわがままに自制心のない子供に育ててしまったり、病気やけがを心配してひ弱に育ててしまったり、世話をやきすぎて、自立心や生活力のない子供に育てあげてしまったり……などの例は、私達母親にとり、子供の家庭教育のむずかしさを語りかけております。

我が家にも男の子と女の子と、男女の差はかなりありますが、四歳の差なんて下の女の子は何の抵抗もなく、兄妹でよくけんかをしています。兄妹のなかった私には、それがたのしくもあり、自分の方から仲間になっていっしょに取っ組み合いもしたりします。それも一つの心の交流の場であ



ると信じております。

もう一つ我が家での原則は、夕食はかならず、夫の帰りを待ち、家族全部で夕食を取るように心がけております。

会社の事、学校での出来事、家庭での一日六人がそれぞれに報告をするようにしております。それも家族の輪だと思っています。

食べもの一つにしても六個にわけ、子供達や夫にも残しておくならわしから、祖母の暖かさを感じております。

私の入っております東陽小家庭教育学級の資料の中に子育て禁物集があります。

一、親の神経質（イライラ、口ぐせ）

二、夫婦げんか（ののしり合い、原因追求、物をこわす）

三、夜ふかし、朝寝、子供と一緒に起きない。

四、隣近所や交際している人の陰口、悪口

五、見栄、浪費、借金・親のつっぱり。

いかがでしょうか、私達東陽小の会員は、常に頭の中に入れ、一日一日の生活の中でどのように活用すべきか、親の私達の宿題となっています。「親が子供の年齢にかえて、我が子をみつめれば叱ることは半分ですむ」とも言われます。

私の家庭教育の心の中の原則を記しまし

たが、私は子供達の教育と家庭での平和の為に毎日奮闘したり、失敗したりしている母親です。

自転車に乗った
カカシ

私も一役かつてます

桑郷の斎藤達雄さんの畑には、自転車に乗ったカカシが立っています。

これはラッカセイを蒔いた後、芽がでないうちにカラスが食べてしまうのを防ぐのに立てたもので、人間もハツとするようなできばえです。珍しいこのカカシ、道行く人も振り返っています。

お元気ですか

⑦

あなたの健康の秘決を一言

新井 鈴木 勝夫さん

昭6・3・31

今日の疲れを明日まで持ち越さないよう、早寝・早起きに心がけています。それが知らざる秘決ではないでしょうか。

谷中 越川 悦子さん

昭7・12・17

一日中二人の孫の面倒におわれて夢中です。病は気からということわざのとおり、夢中になることが健康につながっているのかも知れません。

入 林 正夫さん

大9・7・20

好き嫌いなく食事をとり、仕事は無理せず、一杯をいただいてぐっすり休み、疲れを明日に残さない、それが秘決ですね。

町の人口・世帯数<6月1日現在>

人 口	男	5,809 (+2)
	女	6,001 (-1)
	計	11,810 (+1)
世帯数		2,922 (-1)

